

補遺1： 本日紹介した方法以外に 利用できるもの



補遺では、文献の入手において利用可能な方法のうち、本編では解説できなかったものを二三ご紹介します。

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国内刊行された雑誌論文・雑誌記事（主に2000年以前）の入手に！

[国立国会図書館デジタルコレクション](#) で閲覧可能

公開レベルは3段階

- ① **ログインなしで閲覧可能**：いつでもどこでも利用できる
- ② **送信サービスで閲覧可能**：一部の図書館で or 個人で登録後に利用できる
個人利用者也閲覧・印刷が可能。
個人利用者の登録はWebからも申請可能。
→国立国会図書館の利用者登録（個人）について
<https://www.ndl.go.jp/jp/registration/index.html>
- ③ **国立国会図書館内限定**：国会図書館に直接行く もしくは ILLで複写を取り寄せる
一部、取り寄せ不可の資料もあり

44

一つ目は、国立国会図書館が行っているサービスです。

国立国会図書館は、日本国内で唯一の納本制度をもつ国立図書館であり、国内の出版物を網羅的に収集しています。そのため、読みたい文献が大阪大学附属図書館や近隣の公共図書館にない場合に、国立国会図書館の資料の利用を検討することができます。

国立国会図書館の資料は、その他の図書館と同様に、来館やILLによって利用することができますが、国立国会図書館独自のサービスとして、複写物を直接郵送してくれるサービス（遠隔複写サービス）と、デジタル化資料の送信サービスがあります。

ここでは、デジタル化資料の送信サービスについて掘り下げて説明します。

国立国会図書館が所蔵する資料のうち、著作権の切れたものや、絶版等で入手困難なものは、デジタル化され、「国立国会図書館デジタルコレクション」(<https://dl.ndl.go.jp/>) でデジタルデータとして公開されています。

公開レベルは3段階に分けられています。

一つ目はログインなしで閲覧可能なもので、インターネットが利用できる環境であれば、端末上でどこからでも資料を閲覧することができます。

二つ目は送信サービスで閲覧可能なものです。2023年から個人向けのサービスが始まり、国立国会図書館の利用者登録を行えば、個人の端末で利用者IDによ

る認証を経て送信対象資料を閲覧することができるようになりました。著作権法の範囲内で資料をダウンロードすることも可能です。

三つ目は館内限定公開のもので、国立国会図書館内の端末でのみ閲覧可能なものです。こうした資料を利用するためには、国立国会図書館に来館するか、ILLで資料を取り寄せることになります。

データベース収録のフルテキスト

OPACや からはたどりつけないので注意が必要

中国期刊全文数据库 (CAJ) ※CNKIに含まれるコンテンツ	中国語の学術論文データベース 阪大では、以下の分野の論文フルテキストが利用可能 1994年以降：中国語文字、法律分野、公安 1993年以前：文史哲輯、法学分野
JapanKnowledge Lib	以下の雑誌を収録 太陽 文芸倶楽部（明治28年～大正元年） 文藝春秋（大正12年～昭和34年） 風俗画報

※分野によっては、これらのほかにもフルテキストを入手することができるデータベースがあります

45

二つ目は、論文フルテキストを収録したデータベースです。
大阪大学で利用可能なものとしては、スライドに挙げた二つのデータベースがあります。これらのデータベースには雑誌論文の本文が収録されているのですが、OPAC「UOsaka」アイコンからはたどり着くことができません。
ご自身の研究分野でこれらのデータベースに収録されている文献を利用する必要がある場合は、OPACやCiNii Research等に加えて、これらのデータベースでも文献を探してみてください。

補遺2： 論文単位のIDからの検索



続いて、論文単位で付与されたIDによる文献の検索・入手について解説します。
ここでは、代表的なIDとして、「DOI」と「PMID」を取り上げます。

DOIを使った検索方法

DOI（デジタルオブジェクト識別子）：デジタル化された学術論文や図書に付けられた固有のID

例 [10.1289/ehp.1003396](https://doi.org/10.1289/ehp.1003396) [〇〇 / ■■ という形式]

[附属図書館Webサイトトップページ](#)

→「電子ジャーナル・ブック」

→「DOIで検索」



まず、DOI（デジタルオブジェクト識別子）です。DOIとは、デジタル化された学術論文や図書に振られている固有のIDです。

参考文献リストにもこの情報が記載されていることがあります。

DOIが分かっている場合は、DOIで検索をかけることによって論文フルテキストに簡単にアクセスすることができます。

図書館Webサイトでは、DOIによる検索を行うことができます。

図書館Webサイトトップページの「電子ジャーナル・ブック」タブを開き、「DOIで検索」を選択します。

検索窓にDOIを入力して検索すると、電子ジャーナルと紙の雑誌の所蔵を確認することができます。

PubMed : PMIDを使った検索方法

PubMed 検索結果画面

The screenshot shows a PubMed search result. At the top, there is a 'Review' tab and a citation: 'Environ Health Perspect. 2012 Jan;120(1):11-8. doi: 10.1289/ehp.1003396.' Below this, it says 'Epub 2011 Sep 23.' and '雑誌名・巻号など' (Journal name, volume, etc.). The title of the article is 'Risks and benefits of consumption of Great Lakes fish'. The authors listed are Mary E Turyk, Satyendra P Bhavsar, William Bowerman, Eric Boysen, Milton Clark, Miriam Diamond, Donna Mergler, Peter Pantazopoulos, Susan Schantz, and David O Carpenter. Below the authors, there is a link to 'Affiliations + expand'. The PMID is 21947562, the PMC ID is PMC3261933, and the DOI is 10.1289/ehp.1003396. There is a link to 'Free PMC article' and a red text label 'PMIDをメモする' (Remember PMID). The abstract section is titled 'Abstract' and contains the text: 'Background: Beneficial effects of fish consumption on early cognitive development and cardiovascular health have been attributed to the omega-3 fatty acids in fish and fish oils, but toxic chemicals in fish may adversely affect these health outcomes. Risk-benefit assessments of fish'.

Review > Environ Health Perspect. 2012 Jan;120(1):11-8. doi: 10.1289/ehp.1003396.
Epub 2011 Sep 23. **雑誌名・巻号など**

Risks and benefits of consumption of Great Lakes fish

Mary E Turyk¹, Satyendra P Bhavsar, William Bowerman, Eric Boysen, Milton Clark, Miriam Diamond, Donna Mergler, Peter Pantazopoulos, Susan Schantz, David O Carpenter

Affiliations **+ expand**

PMID: 21947562 | PMCID: PMC3261933 | DOI: 10.1289/ehp.1003396

Free PMC article **PMIDをメモする**

Abstract

Background: Beneficial effects of fish consumption on early cognitive development and cardiovascular health have been attributed to the omega-3 fatty acids in fish and fish oils, but toxic chemicals in fish may adversely affect these health outcomes. Risk-benefit assessments of fish

48

PMIDは、医学生物学系のデータベース「PubMed」における独自の文献IDです。スライドに掲載した図は、PubMedの書誌詳細画面の例です。画面上方に論文が掲載されている雑誌名や巻号が書かれています。その右側には先ほど説明したDOIも書かれています。PMIDは、画面中ほど画面の中ほどに記載されています。

PubMed：PMIDを使った検索方法

PMID：PubMed上の論文単位のID

[附属図書館Webサイトトップページ](#)

→ 「電子ジャーナル・ブック」 タブ

→ 「PMIDで検索」 タブ



49

PMIDによる文献検索の方法は、DOIの場合と同様です。

図書館Webサイトのトップページで「電子ジャーナル・ブック」タブを開き、「PMIDで検索」を選択します。

検索窓にPMIDを入力して検索すると、電子ジャーナルと紙の雑誌の所蔵を確認することができます。

補遺は以上です。

「フルテキスト入手法」のe-learning教材をご覧いただき、ありがとうございました。皆さんの学習・研究の一助となれば幸いです。